

味優レリ、漢名水精楊梅五雜釋名ノ註ニ、白楊梅爲聖僧ト云フ是ナリ、汝南圃史ニ聖僧梅ニ作ル、木皮ヲ藥トス、楊梅皮ト云、俗ニモ、カワト呼ブ、染家ニハ褐色ヲ染ムルニ用ユ、然レドモ布帛ヨハクナルト云、京師工ハ北山及江州ヨリ多ク出ス、

〔古今要覽稿草木〕やまも、山櫻桃 楊梅

やまも、漢名楊梅は本草和名にも、山櫻桃白桃子味苦不中食、黑櫻子味甜美中食、和名類聚抄には、楊梅やまも、狀如莓子とみヘ、七卷食經に、山櫻桃有二種、黑櫻子和名上同とみゆれば、山櫻桃黑櫻子ともにやまも、の一名なり、楊梅は古くより、何國にてもやまも、と呼て別に方言もなし、皇國固有の種にて處々に生ずれども、多く暖地に生じて、北地には生せずといへり、此花は春開きて、松花に似たり、花散て後別に實を結ぶ、夏熟して紫黒色なれば、黑櫻子の名は宜なり、又山櫻桃のやまも、は何の木をいひしにや、大和本草には、庭さくらを充たれども、にはさくらは郁李の一種千葉の花をいへり、郁李にはむめと呼、實を結べども、庭さくらは實を結ばず、

〔草木六部耕種法需實〕楊梅ハ種類頗ル多ク、實ニモ紅紫白ノ三色有リ、大ナル者ハ味美ク、小者ハ味宜カラズ、其三色中ニ於テ、白者ハ殊更ニ甘美ナリ、其實野梅ノ大ナル者アリ、是ヲ最上品トス、又花早ク發ク者ハ實ヲ結ブコト無シ、是ヲ花楊梅ト名ク、又葉細ニ木縮ル如ク、實小ニシテ味酸者アリ、此ヲ松楊梅ト名ク、此兩種ハ下品ナリ、栽ルコト勿レ、元來楊梅ハ山果ニテ、山中ナルハ其實豐熟シ、家園ナルハ豐熟スルコト稀ナル者ナリ、楊梅ハ山中ニ栽ルニハ良種ヲ栽レバ、其儘ニ成長セシムルモ宜シ、家園及畑地ニ栽ルトキハ接木スベシ、種子ヲ植法ハ、五月能ク熟タル良種ヲ撰ビ集テ、糞壺中ニ漬ケ置キ、數日ノ後其ノ核ヲ肥土ニ混テ古筵ニ包ミ、濕ハズ燥ザルヤウニ貯ヘ置テ、翌年二月墳土ヲ細ニ耕シ、間遠ニ蒔テ糞苴ヲ和タル土ヲ七八分モ覆ヒ、少シ押シ付ケ置キ、時々泔水ヲ澆テ此ヲ潤シ、芽出苗ノ長ズルニ從ヒ草ヲ去テ、此ヲ成長セシメ、一尺以上ニ